

【別紙様式】

久喜市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。			
事業名	文化会館事業（事業継続支援金）		
総事業費 （千円）	10,394千円	交付金関連事業費 （交付対象経費） （千円）	10,394千円
事業概要	①目的 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う文化会館の利用制限等に応じ、協力する指定管理者を支援する。 ②交付金を充当する経費・算定根拠 文化会館指定管理者への支援金 R2.4月～11月の利用制限等に伴う影響額22,854,574円－業務未執行費用8,996,994円＝13,857,580円 $13,857,580円 \div 8月 \times 12月 \times 1/2 = 10,393,185円$ ③交付対象 1）交付対象者 文化会館指定管理者（株式会社ケイミックスパブリックビジネス）1者 2）交付対象者の選定理由・選定方法 文化会館は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用制限等により、利用者数が入が大幅に減少しており、事業の継続が困難な状況にある。市民の文化振興にとっては、欠かせない施設であり、今後も感染症に対応した安定した施設の管理運営を継続するため、指定管理者である株式会社ケイミックスパブリックビジネスを交付対象者として、支援金を交付する。 ④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、文化会館の継続が図られることにより、市民の文化振興が維持され、その生活の安定が確保される。		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	文化会館は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用制限等による利用者の大幅な減少により、令和2年4月～11月の利用料金収入が、前年同期比約67％悪化し、このままでは、事業の継続が困難な状況に陥っている。 株式会社ケイミックスパブリックビジネスを交付対象者として支援金を交付し、文化会館の継続を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。		